



いよいよJust 1週間！



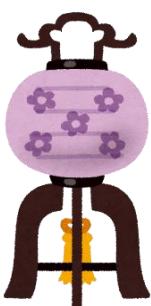
夏休みも今日を含めあと1週間となりました。みんなは元気に過ごしていますか？

夏休みの宿題はもう終わっていますか？1学期の終業式でお話ししたように何度も何度も何かに挑戦する日々を送っているでしょうか。まだ1週間あります。最後までしっかり頑張ってください。

毎年この時期になると高校野球も終盤を迎えるころには夏の終わりを感じます。大阪代表の履正社高校は昨年度優勝校、仙台育英高校に敗れてしまいましたが、最後まですばらしいプレイを見させてくれました。残念ながら奈良代表の智辯学園も敗れ、近畿勢はベスト8を前にすべて姿を消しました。本当に毎年毎年、全力で白球を追いかける球児に感動と勇気をもらっています。明日は準々決勝、全球児を応援したいと思います。

話は変わりますが、今年のお盆は残念ながら台風7号の影響を受け、予定していたことができなかつた人も多かったのではないかでしょうか。被害を受けることはなかったでしょうか？新幹線や飛行機など交通機関にも多大な影響があり、移動できずに困った人もいたのではないかでしょうか。校長先生も行きたかったところに行けず、家で過ごす時間が長かったです。家族や友人と楽しく過ごす時間、お墓参りなど祖先を敬う時間としてこのお盆の時には過ごしますが、本来お盆にはどんな意味があるのでしょうか。少し紹介したいと思います。

「お盆」は、仏教における「盂蘭盆会（うらばんえ）」、または「盂蘭盆（うらぼん）」を略した言葉とされています。語源は、サンスクリット語の「ウランバーナ（=逆さまに吊り下げられた苦しみ）」です。盂蘭盆会は、その昔、お釈迦様のお弟子である目連尊者（もくれんそんじや）が、亡き母を救う話に由来しています。目連尊者の母親は、子（目連尊者）を溺愛するあまり周囲の不幸に無関心だったことが原因で、餓鬼道に落ちてしまします。餓鬼道に落ちた母親は逆さまにされ、食べるもの飲むもの全てが火となり飢えと渴きに



苦しんでいました。神通力を持っていた目連尊者は、苦しむ母親の姿を目にしてお釈迦様に相談したところ、夏の修行を終えた7月15日に僧侶たちを招き、供物をささげて供養するといよい」という教えを受けます。

これに従って供養したところ、その功德によって母親は極楽往生を遂げたと言われています。なお、上記は仏教の伝来によって取り入れられた風習ですが、日本各地には古来から夏時期には祖靈を祀る習慣があったとも言われています。

こうした日本古来の風習と仏教の考えが混ざり合った結果、現在の日本におけるお盆は、家族や一族が集まり、ご先祖様や故人様を偲び、供養する行事として定着しています。

お盆の期間は、8月13日～16日の4日間（8月盆）が一般的ですが、東京をはじめとする一部地域では、7月13日～16日の4日間（7月盆）で行われるそうです。また、東京の多摩地区では7月31日～8月2日、沖縄県では8月中旬～9月上旬に行う場合もあるそうです。

さあ、残りの夏休み、やるべきことをすべてやり切って悔いを残さないようにしてください。宿題をやり切るだけではなく、夏休みだからと心も体も油断してしまったいる人は身だしなみも含め気持ちを切り替えて始業式を迎えてください。また、夏休み中に困ったことや悩み事ができた人は「**1人で抱え込みず、信頼できる人に相談することの大切さ**」を忘れないでください。きっとみんなのことだから横堤中学校の生徒として誇りをもって堂々と8月25日を迎えてくれると信じています。まだまだ暑い日が続きますが体調管理を忘れず、に鍛えの夏を走り抜けてください。